

## スズキ、海外向け二輪車の2015年新モデルを発表

スズキ株式会社は、9月30日から10月5日\*までドイツ・ケルンで開催されている二輪車の国際見本市「インターモト」において、海外向け二輪車の2015年新モデル6機種を発表した。

※プレスデー:9月30日、一般公開日:10月1~5日

### ●「GSX」シリーズの新型モデル「GSX-S1000/ABS」「GSX-S1000F/ABS」

ネイキッドバイク「GSX-S1000/ABS」およびフルカウル仕様車「GSX-S1000F/ABS」は、MotoGPマシン「GSX-RR」、スーパースポーツバイク「GSX-R」の「GSX」シリーズに、新たに「GSX-S」として投入するストリートバイクである。新設計の軽量フレームの車体に「GSX-R1000」をベースに改良した直列4気筒エンジンを搭載し、力強い低中速トルクと高回転域の出力特性を損なうことなく、一般公道に適した設定とした。3段階\*から選択可能なトラクションコントロールや、ブレンボ製ラジアルマウントフロントブレーキキャリパー、レンサル製アルミハンドルを装備し、ABS仕様車も設定した。また、プッシュスタートシステムをスズキの大型二輪車で初めて採用した。

※1/2/3の3段階(解除可能)

「GSX-S1000/ABS」は2015年3月より、「GSX-S1000F/ABS」は4月より、スズキの豊川工場生産を開始し、欧州、北米などで販売を開始する計画である。

### ●冒険をイメージさせるデザインのスポーツアドベンチャーツアラー「V-Strom650XT ABS」

街乗りから長距離ツーリングまで楽しめるツーリングモデルとして好評の「V-Strom650 ABS」に、冒険をイメージさせる新デザインのフロントカウルを採用し、ホイールにはワイヤースポークホイールを装着して低速域での衝撃吸収性を高めた。

10月より日本で販売を開始し、欧州、北米などで順次販売する計画である。

### ●低燃費スクーター「Address」

「Address」は使い勝手の良い大容量の収納スペースや、優れた加速性能と低燃費が特長の110ccのスクーターである。エンジンの燃焼効率向上と、摩擦抵抗の低減により49km/L<sup>\*</sup>の低燃費を実現しながら、優れた低中速域での発進加速を特長とする。20.6Lの大容量のシート下収納スペースは、フルフェイスヘルメットだけでなく、レインコートやグローブも同時に収納でき、レッグシールド内収納スペースには左側に600ml、右側に500mlのペットボトルを1本ずつ収納可能。また、シート開錠機能付ステアリングロックを採用するなど、日常の使い勝手を考慮した。

※WMTCモード測定値、スズキ調べ。

スズキのインドネシア子会社スズキ・インドモービル・モーター社で2015年1月より生産を開始し、欧州で販売を開始する計画である。

### ●ABSを追加したスーパースポーツバイク「GSX-R1000 ABS」

スズキを代表するスーパースポーツバイク「GSX-R1000」に新たにABS仕様車を追加した。また、標準車とABS仕様車両方に、スズキの2015年からのMotoGP参戦を記念して、MotoGPマシン「GSX-RR」同様のカラーリングを設定。黒色のレバー、フットステップおよびペダルを装備した。

### ●新設計のハーフカウルを装着した「Bandit 1250S ABS」

スズキ大型スポーツバイクのロングセラー「Bandit 1250S ABS」に新設計のハーフカウルを装着した。サイドカウルをラジエーター側面まで下方に延長することで、空気抵抗の低減を図った。



GSX-S1000/ABS



GSX-S1000F/ABS



V-Strom650XT ABS



Address



GSX-R1000 ABS



Bandit 1250S ABS